

資 料 編

- 資料1 平成26年度「マイバッグ・チャレンジ30」の取組結果 . . . 1
- 資料2 平成26年度マイバッグ持参率等アンケート調査結果 . . . 別冊
- 資料3 平成27年度おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画） . . . 5
コンクール募集要領（案） 等
- 資料4 平成27年度おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコ . . . 13
チャレンジコンテスト募集要領（案） 等
- 資料5 平成27年度「マイバッグ・チャレンジ30」実施要領（案） . . . 25
- 資料6 食品ロスについて . . . 27
- 資料7 マイボトル・マイカップキャンペーンについて . . . 29

平成26年度「マイバッグ・チャレンジ30」取組結果について

1 取組結果

- (1) 参加グループ及び参加人数 125グループ918人
- (2) レジ袋辞退回数 9,960回
- ・ 1グループ当たり平均レジ袋辞退回数 79.7回
 - ・ 1人当たり平均レジ袋辞退回数 10.8回

<参考>

- ・ 総レジ袋削減量 67,728g
(1回当たり1袋(6.8g)分が削減されるとして算出)
 - ・ 総二酸化炭素削減量 306,768g
(1回当たり1袋(30.8g)分の二酸化炭素が削減されるとして算出)
- 杉の木が1年間に吸収する二酸化炭素の量に換算すると約22本分に相当
(杉の木1本の年間二酸化炭素吸収量を14kgとして算出)

2 参加グループの取組結果

レジ袋辞退回数順(上位10位)

順位	グループ名(★★★は、非公表希望のグループ)	参加人数(人)	総レジ袋辞退回数(回)
1	子供会母の会	15	430
2	県庁・循環型社会推進課	16	306
3	里庄町役場	24	296
4	おかやまコープ井笠エリア	10	295
5	玉野市婦人協議会	10	290
6	県庁・環境企画課	21	275
7	株式会社エフピコ笠岡	23	250
8	★★★	17	220
9	笠岡市役所環境課チーム	10	211
10	井原市消費生活問題研究協議会	10	193

*グループ名及び取組結果は、参加グループからの申告による。

3 主な感想

- ・参加することで、マイバッグ持参の意識付けや習慣化ができた。
- ・自分の買い物行動（買い物回数やレジ袋の受け取り方）を認識できた。
- ・環境にやさしい行動ができてうれしかった。
- ・商品の過剰包装が気になるようになった。
- ・グループで取り組んだので、お互い声を掛け合って積極的に取り組めた。
- ・回数をカウントすることで意識を高めて実践できた。
- ・周りの方もマイバッグ持参にチャレンジして欲しい。
- ・食料品以外の買い物では、マイバッグを忘れることが多かった。
- ・急な買い物や、買い物量が多い時には、レジ袋を受け取ることが多かった。
- ・ごみ出しのためや、買う品物によってはレジ袋が必要なこともある。
- ・まとめ買い用の大きなサイズのマイバッグ以外に、細々した買い物で使う小さいサイズのものを用意しておくとう便利だった。
- ・職場、車、バッグの中等に常にマイバッグを携帯しておくとう忘れなくて良かった。
- ・お店では自動的にレジ袋に入れるのではなく、積極的にレジ袋が必要かどうか確認して欲しい。
- ・お店の方からマイバッグ持参にお礼を言われて、うれしかった。
- ・買い物時にマイバッグ持参で特典（値引きやポイント加算など）があると、動機づけになる。
- ・レジ袋の無料配付を中止してはどうか。

4 参加グループについて

(1) 参加人数別グループ数

参加人数	グループ数	備考
2人～5人	61	
6人～10人	44	
11人～20人	16	
21人～30人	3	
51人～60人	1	岡大生協学生委員会
合計	125	

(2) 種類別グループ数

種類	グループ数	備考
家族	40	
職場・団体	59	
友人・知人	22	
その他	4	老人会・研究室
合計	125	

(3) グループ申込責任者の住所地別グループ数

市町村名	グループ数
岡山市	46
倉敷市	14
津山市	5
玉野市	13
笠岡市	11
井原市	2
総社市	5
高梁市	4
新見市	3
備前市	1
瀬戸内市	1
赤磐市	1
美作市	1
浅口市	2
真庭市	2
里庄町	5
矢掛町	2
鏡野町	2
久米南町	1
美咲町	3
吉備中央町	1
合 計	125

*参加なし

早島町
新庄村
勝央町
西粟倉村
和気町
奈義町

<参考>「マイバッグ・チャレンジ30」事業概要

1 目 的

レジ袋の削減効果を数字で表し「見える化」することで、マイバッグ持参による買い物習慣の定着を図るとともに、グループ単位でレジ袋削減の取り組みを促すことで、ゴミの減量化、環境保全及び環境にやさしい生活スタイルへの見直しを推進する。

2 主 催 岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

3 参加資格 岡山県内に在住又は勤務している方のグループ（事業所等2人以上）

4 実施期間 平成26年11月1日（土）～11月30日（日）

5 実施方法

参加者は、スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストア等での買い物時にレジ袋を辞退した回数等を記録し、期間終了後、グループ内のレジ袋辞退回数等を集計して事務局宛てに報告する。

平成27年度おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール

募 集 要 領 （案）

1 趣 旨

県では、循環型社会の形成に向けた3R（ごみを減らす（リデュース）、再使用する（リユース）、再生利用する（リサイクル））の取組を進めるため、「もったいない」をキーワードに「おかやま・もったいない運動」を実施している。

ついでには、もったいない精神の普及と3Rに対する意識の高揚を図るため、「おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール」を実施する。

2 主催等（予定）

- ・主催： 岡山県、岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議
- ・共催： 公益財団法人岡山県環境保全事業団
- ・後援： 岡山県教育委員会

3 応募資格 県内の小学生

4 応募内容 ごみの減量等「もったいない」をテーマとしたポスター（絵画）
※テーマの具体例は別紙参照

5 規格等 用紙の大きさは四つ切り画用紙とする。色彩、文字の書体は自由
<注意点>
・1・2年生は「絵画」とし、字句を書き入れないこと。
・3年生以上は「ポスター」とし、内容に適した呼びかけの言葉を入れること。
※立体性のある作品（糊等を使用し貼り付けたもの）は対象外とする。

6 応募方法 学校を通じて提出すること。
・応募作品は1人1点、未発表のものとする。
・応募票（別紙1）に、学校名、学年、氏名（ふりがな）、一連番号を記入し、作品の裏面右下にはがれないように貼り付ける。
・学校内の応募作品を取りまとめ、応募者名簿（別紙2）を添付して送付する。

7 応募締切 平成27年9月14日（月）〔必着〕

8 応募先 〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
岡山県 環境文化部 循環型社会推進課内
おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール 係
（TEL 086-226-7306 FAX 086-224-2271）

9 審査 主催者が委嘱した審査員により審査する。

10 発表 平成27年10月予定 ※受賞者の学校、学年、氏名を公表する。

11 表彰 3部門（①低学年の部（1・2年生）、②中学年の部（3・4年生）、③高学年の部（5・6年生））ごとに、次のとおり賞を贈る。（賞状及び副賞を贈呈）
表彰式：11月に岡山市内で開催（予定）
展示：県内3箇所程度（予定）

岡山県知事賞	各部門1点
岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議会長賞 （マイバッグ持参での買い物をテーマとしたものから選出）	各部門1点
岡山県環境文化部長賞	各部門3点
優秀賞	各部門5点

12 その他 応募作品に関する一切の権利は、主催者に帰属し、返却しない。
受賞作品は、岡山県で管理し、広報等に利用することがある。
応募者全員に参加賞を贈る。

平成27年度
**おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール
作品募集！**

私たちは、とても便利で快適な暮らしをしていますが、貴重な資源を消費するだけでなく、たくさんの「ごみ」を生み出しています。

そこで、岡山県では、もったいない精神の普及と3R（スリーアール：リデュース（ごみをもとから減らす）、リユース（繰り返し使う）、リサイクル（資源として再生利用する））に対する意識を高めるため、次のとおりポスター（絵画）を募集します。

応募内容 「もったいない」をテーマとしたポスター（絵画）
ごみの減量・リユース・リサイクルなど、テーマ例を参考にしてください。

応募資格 県内の小学生

応募締切 平成27年9月14日（月）必着

■規格等

用紙の大きさは四つ切り画用紙
色彩や書体は自由

＜注意＞

- ・1・2年生は「絵画」
字句を書き入れないでください。
- ・3年生以上は「ポスター」
内容に適した呼びかけの言葉を入れてください。
- ・立体性のある作品（のり等を使用し、貼り付けたもの等）は対象外です。

■応募方法

- 学校を通じて提出してください。
- ・応募作品は1人1点、未発表のものとしてください。
 - ・応募票（別紙）に、学校名、学年、氏名（ふりがな）、一連番号を記入し、作品の裏面右下に貼付してください。
 - ・学校内の応募作品を取りまとめ、応募者名簿（別紙）を添付して送付してください。

■審査

主催者が委嘱した審査員が審査します。

＜お問い合わせ・応募作品送付先＞

〒700-8570

岡山市北区内山下2-4-6 岡山県環境文化部循環型社会推進課内
「おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール」係

電話：086-226-7306 FAX：086-224-2271

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/30>

主催：岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

共催：公益財団法人岡山県環境保全事業団 後援：岡山県教育委員会

産業廃棄物処理税活用事業

岡山県では、産業廃棄物の処分量に応じて、事業者に課税し、廃棄物の抑制やリサイクルの推進に活用しています。

■表彰

低学年（1・2年生）の部、中学年（3・4年生）の部、高学年（5・6年生）の部ごとに、次の賞を贈ります。（賞状及び副賞を贈呈）

- ・知事賞 各部門1名 計 3名
- ・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議
会長賞 各部門1名 計 3名
（マイバッグ持参での買い物テーマとしたものから選出）
- ・環境文化部長賞 各部門3名 計 9名
- ・優秀賞 各部門5名 計 15名

☆応募者全員に参加賞を贈ります！

受賞者は、学校名、学年、氏名を公表しますので、ご了承ください。

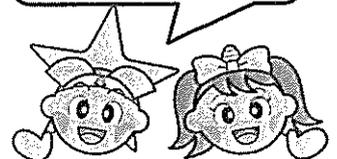
■表彰式等

表彰式：11月に岡山市内で開催（予定）
作品展示会：県内3箇所（予定）

■応募作品の取扱い等

応募作品の一切の権利は、主催者に帰属し、返却しません。
受賞作品は、岡山県で管理し、広報等に活用します。

たくさんのご応募
お待ちしております。



©岡山県「ももっち・うらっち」

おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール応募者名簿

学校名※ _____ 小学校 _____ 担当者氏名 ※ _____

住 所※ _____ 連絡先(TEL)※ _____

(FAX)※ _____

(_____ 学年)

番号	氏 名
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

番号	氏 名
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	

○必須事項(※部分)は必ず記入してください。

○各学年ごとに名簿を作成し、一連番号をつけてください。

記入欄が足りない場合は、コピーをとり番号を訂正してご利用いただけます。

○名前は誤字・脱字のないよう、ご注意ください。

様式は岡山県循環型社会推進課のホームページからダウンロードできます。

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/30/>

応募票

※ 切り取って作品の裏面右下に貼り付けてくださるようお願いいたします。不足する場合は、コピーしてご利用ください。
 また、様式は岡山県循環型社会推進課のホームページからダウンロードできます。
<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/30/>

※ 番号欄には、応募者名簿の一連番号をご記入ください

おかやま・もったいない！
 小学生ポスター(絵画)コンクール応募票

番号()

学校名	小学校	
(ふりがな)		学年
氏名		

おかやま・もったいない！
 小学生ポスター(絵画)コンクール応募票

番号()

学校名	小学校	
(ふりがな)		学年
氏名		

おかやま・もったいない！
 小学生ポスター(絵画)コンクール応募票

番号()

学校名	小学校	
(ふりがな)		学年
氏名		

おかやま・もったいない！
 小学生ポスター(絵画)コンクール応募票

番号()

学校名	小学校	
(ふりがな)		学年
氏名		

おかやま・もったいない！
 小学生ポスター(絵画)コンクール応募票

番号()

学校名	小学校	
(ふりがな)		学年
氏名		

おかやま・もったいない！
 小学生ポスター(絵画)コンクール応募票

番号()

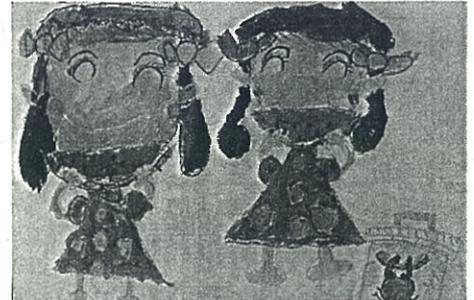
学校名	小学校	
(ふりがな)		学年
氏名		

おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール テーマ例

ポスター（絵画）のテーマとして、参考にしてください。「もったいない」気持ちでごみ減量や3R（スリーアール）などと呼ばかけるものなら、ここにはないものでも構いません。

1 食べ物や食事について

- 賞味期限や消費期限に気をつけて、食べられるうちに使い切る
- 食べ残さない
- 料理を作りすぎない
- 野菜など食べられるところは使い切る
- 外食の時、マイはしを使う
- 外出には、マイボトル（水筒）を持って行く
- 生ごみは、水をよく切って出す
- 生ごみは、コンポストなどでたい肥にして利用する
- 天ぷら油は、資源回収に出したり、石けんを作ったりして活用する
- 紙皿や紙コップなどの使い捨てのものを使わない



平成26年度 知事賞 低学年の部

2 買い物について

- 長く使える商品を選ぶ
- 必要かどうか考えて計画的に買い物をする
- 繰り返し使えるびん（リターナブルびん）入りのものや中身が詰めかえられる商品を買う
- いらぬ包装紙やブックカバーをことわる
- リサイクルして作られたものやエコマークのついた商品を買う
- 使い捨ての割りばし、スプーン、ストローなどをことわる



平成26年度 知事賞 中学年の部

★岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議会長賞対象テーマ



買い物にはマイバッグ（買い物袋）を持って行き、レジ袋や紙袋を受け取らない

※知事賞等の対象にもなります。

3 その他の3R（スリーアール）

- ごみをなるべく出さない（リデュース）
 - チラシ、カレンダーなどの裏がわをメモ用紙に使う
 - えんぴつ、消しゴム、ノートなどを最後まで使う
 - ものを捨てる前に、まだ使えるかどうかを考える
- 使えるものは再使用する（リユース）
 - いらなくなった洋服などを必要な人と交換する
 - こわれた物は修理して使う
 - リサイクルショップやフリーマーケットを利用する
- ごみになるものでも大切な資源として活用する（リサイクル）
 - 新聞、雑誌、かん、びん、ペットボトルなど分別して回収に出す



平成26年度 知事賞 高学年の部

平成27年度おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト 募集要領(案)

1 趣 旨

県では、循環型社会の形成に向けた3R（ごみを減らす（リデュース）、再使用する（リユース）、再生利用する（リサイクル））の取組を進めるため、「もったいない」をキーワードに「おかやま・もったいない運動」を実施している。

ついては、もったいない精神の普及と3Rに対する意識の高揚のため、県内の小学生を対象に、家庭で3Rや地球温暖化防止に向けた取組を行う「おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト」を実施する。

2 主催等(予定)

主催：岡山県、岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

共催：地球温暖化防止プロジェクト推進会議、公益財団法人岡山県環境保全事業団

後援：岡山県教育委員会

3 応募資格 県内の小学生 ※家族と一緒に取り組むこと。

4 取組期間・内容

- ・平成27年8月31日までの1週間以上の期間
- ・小学生と家族と一緒に、3Rや地球温暖化防止に向けた取組を実践する。
A) ごみゼロチャレンジ…買物や食事など、日常生活を通じた3Rに向けた取組
B) 温暖化防止チャレンジ…電気や水の節約など、温暖化防止の取組

5 応募方法 学校を通じて提出すること。

- ・報告用紙に取組状況の写真や取組資料などもできるだけ添付する。
- ・応募は、1人1点とする。
※家族内の兄弟等が同一の取組をした場合は、代表者1人1点とする。
- ・学校内の報告用紙を取りまとめ、応募者名簿（別紙）を添付して送付する。

6 応募締切 平成27年9月14日（月）〔必着〕

7 応募先

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

岡山県環境文化部循環型社会推進課内

「おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト」係

(TEL 086-226-7306 FAX 086-224-2271)

8 審査 主催者が委嘱した審査員により審査する。

9 発表 平成27年10月予定 ※受賞者の学校、学年、氏名を公表する。

10 表彰 次のとおり入賞作品に賞状及び副賞を贈呈する。

表彰式：11月に岡山市内で開催（予定）

展示：県内3箇所程度（予定）

個人の部		団体の部	
最優秀賞	1名	最優秀賞	1学校
優秀賞	5名	優秀賞	若干校
努力賞	10名		

11 その他 応募した報告書等の一切の権利は、主催者に帰属し、返却しない。
受賞作品は、県で管理し、広報等に利用することがある。
応募者全員に参加賞を贈る。

平成27年度 おかやま・もったいない！
小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト
参加者募集！

私たちは、とても便利で快適な暮らしをしています。貴重な資源を消費するだけでなく、たくさんの「ごみ」を生み出しています。

そこで、岡山県では、もったいない精神の普及と3R（スリーアール：リデュース（ごみをもとから減らす）、リユース（繰り返し使う）、リサイクル（資源として再生利用する））に対する意識を高めるため、次のとおり、家庭でできる3Rや地球温暖化防止に向けた取組を行う参加者を募集します。

応募資格

県内の小学生

家族と一緒に取り組むこと。

応募締切

平成27年9月14日(月) 必着

■取組期間

平成27年8月31日までのうち1週間以上

■取組内容

「もったいないチャレンジャー」として小学生と御家族と一緒に、3Rや地球温暖化防止に向けた取組をして、「報告用紙」に記録します。

A：ごみゼロチャレンジ

買い物や食事など、日常生活を通した3Rに向けた取組

B：温暖化防止チャレンジ

電気や水の節約など、温暖化防止の取組

■応募方法

学校を通じて提出してください。

- ・応募は報告用紙1人1点としてください。
※ただし、家族内の兄弟等が同じ取組をした場合は、代表者1人1点とします。
- ・取組状況の写真や取組資料などもできるだけ添付してください。
- ・学校内の応募を取りまとめ、応募者名簿（別紙）を添付して送付してください。

■審査

主催者が委嘱した審査員が審査します。

■表彰

個人の部、団体の部に、次の賞を贈ります。（賞状及び副賞を贈呈）

- ・個人の部
最優秀賞:1名 優秀賞:5名 努力賞:10名
- ・団体の部
最優秀賞:1学校 優秀賞:若干校

☆応募者全員に参加賞を贈ります！

受賞者は、学校名、学年、氏名を公表しますので、ご了承ください。

■表彰式等

表彰式：11月に岡山市内で開催（予定）
作品展示会：県内3箇所（予定）

■応募作品の取扱い等

応募作品の一切の権利は、主催者に帰属し、返却しません。
受賞作品は、岡山県で管理し、広報等に活用します。

<お問い合わせ・報告用紙送付先>

〒700-8570

岡山市北区内山下2-4-6 岡山県環境文化部循環型社会推進課内
「おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト」係

電話：086-226-7306 FAX：086-224-2271

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/30> 報告用紙等ダウンロードできます。

たくさんのご応募
お待ちしております。



©岡山県「ももっち・うらっち」

主催：岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

共催：地球温暖化防止プロジェクト推進会議・公益財団法人岡山県環境保全事業団

後援：岡山県教育委員会

産業廃棄物処理税活用事業

岡山県では、産業廃棄物の処分量に応じて、事業者に課税し、廃棄物の抑制やリサイクルの推進に活用しています。

おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト 応募者名簿

学校名※	小学校	担当者氏名 ※
住 所※	連絡先(TEL)※	
	(FAX)※	

(学年)

番号	氏 名
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

番号	氏 名
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	

- 必須事項(※部分)は必ず記入してください。
 - 各学年ごとに名簿を作成し、一連番号をつけてください。
 - 名前は誤字・脱字のないよう、ご注意ください。
- 様式は岡山県循環型社会推進課のホームページからダウンロードできます。
<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/30/>

わたしたちの日々の生活
 ちょっとした「もったいない」の積み重ねが環境保全に
 大きな効果を生み出します
 さあ、みなさんも「もったいない」でエコライフを始めましょう

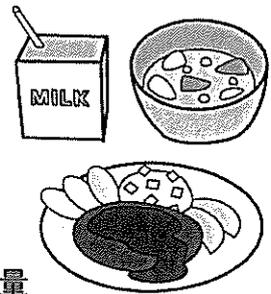
知って気づいてエコな情報

○年間の「食品ロス」量は、世界の食糧援助量の約2倍！

日本の家庭から捨てられる残飯は、約1,032万トン。家庭からの食品廃棄物は、国民一人あたりでは81kgになります。

食品製造の際に出るロスなどを加えると約1,800万トンの食品廃棄物が発生しています。

そのうち、本来食べられるのに廃棄されている「食品ロス」は年間500～800万トン含まれると考えられ、これは、世界の食糧援助量（約400万トン）の約2倍に相当する量です。 ※農林水産省HP参照

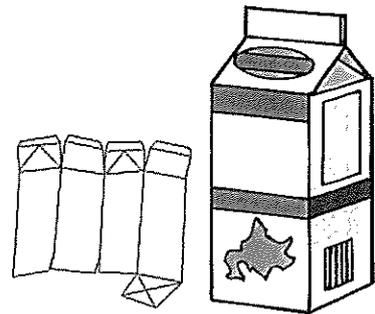


○牛乳パック30枚で、トイレットペーパーが5つも！

飲み物用の紙パックの生産量は年間約70億個。日本人1人あたり約58個の紙パックを、1年間に使っている計算になります。（1週間に1個程度。）

これを、そのまま捨てないで、紙の原料などに使えたらいいですね。牛乳パック30枚で60m巻のトイレットペーパーが5つもできるそうですよ。

※「全国パック連」HP参照

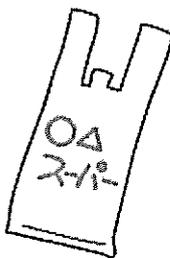


○日本のレジ袋の使用量、1人が1日に1枚使うと、年間38万トン！

日本のレジ袋の使用量は、年間約38万トンと推計されています。これは、日本全国で約470億枚、国民1人1日1枚ほど使っている計算です。

レジ袋の使用を減らすため、全国各地で買い物袋を持参する「マイバッグ運動」が展開されています。

さらに、積極的な地域やお店などでは、レジ袋の無料配布中止や、レジ袋の辞退者への割引サービスなど、さまざまな取り組みが進められています。



○蛇口から水を5秒出しっぱなしにすると1リットル！

蛇口から流れる水は、1秒で200ミリリットル。5秒も流しっぱなしにすると、1リットルも無駄に流れていくんです。

日本人が1年間に飲む炭酸飲料は1人平均で約24リットルと推計されていますから、わずか2分間蛇口を開け放しにしておいただけで、同じ量の水を流していることになるわけです。



○知らないうちに、電力が…

リモコンをピッと押せば、パッと付くテレビ。でもそのために、テレビはあなたが見ていない間も常にスタンバイ中。この間に消費している電力が「待機電力（待機時消費電力）」と呼ばれます。平均的な家庭の待機電力量は、全消費電力量の7.3%という調査結果も。



○毎年、お風呂から捨てるお金が1万円！



浴槽の容積は約200リットル。毎日お風呂のお湯を張り替えれば、年間の使用量は約73,000リットル。

この分の水を有効活用すれば、水道料金が1,400円/10^mとすると、年間で10,220円分の水が節約できる計算です。

それだけ使う風呂の水、有効活用を考えたいですね。

○一人が1年間に9kg捨てているものは？

あなたが何気なく捨てている服、でも、日本全国では、年間約100万トンが捨てられると推計されています。一人あたりにすると、年間約9kgの服を捨てていることとなります。捨てられた服のうち、リサイクルされるのは5~10%程度と推測されており、そのほとんどが焼却されたり、埋め立てられています。

流行だからといって、安易に新しい服を買っては、古い服を捨てていませんか？



○晴れた日は干す。自然エネルギーを使ってみましょう！



お子さんの洗濯物など、急いで乾かさなくてはならないものがあるときには便利な乾燥機。でも、消費電力はとても大きいのです。天気の良い日には、乾燥機を使わずに外で天日干し。

特に、日中2~3時までが気温も高く、湿度も低いので乾燥しやすく、また紫外線による殺菌効果も期待できます。

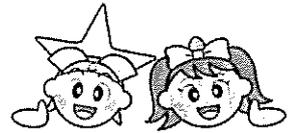
風通しがよいところでは、効果倍増です。

こんな昔ながらの乾燥法も、自然エネルギーを活用したエコライフの実践につながります。

※個別に参照先等を明記していないものは、(一財)環境情報センターが運用するEICネットのHPより引用しています。

平成27年度

「おかやま・もったいない！小学生ファミリー
エコチャレンジコンテスト」 報告用紙



©岡山県「ももっち・うらっち」

家族で取り組んだ「もったいないチャレンジ」の結果を報告します。

提出日：平成 年 月 日

<small>がっこうめい がくねん</small> 学校名 / 学年	小学校 第 学年
もったいないチャレンジャー <small>(ふりがな)</small> 氏名	
<p>1. 「もったいないチャレンジ」に挑戦した期間は、いつでしたか？</p> <p>平成27年 月 日 () ~ 月 日 () の1週間<small>しゅうかん</small></p> <p style="text-align: right;">* または、() 日間</p> <p><small>(注) 8月31日までの間で、連続して家<small>いえ</small>にいる週<small>しゅう</small>を選んで決めてください。基本は1週間ですが、できればもっと長い期間取り組んでみてください。(1週間以上のときは*に日数を書いてください。)</small></p>	
<p>2. 協力<small>きょうりょく</small>してもらった家族<small>かぞく</small>は、誰ですか？</p> <p>お父さん・お母さん・きょうだい ()・おじいちゃん・おばあちゃん・その他 ()</p> <p><small>(注) 協力してもらった人に○印をしてください。きょうだいに手伝ってもらった場合は、()の中に、お姉さん<small>ねえ</small>、弟など、手伝ってもらった人を書いてください。</small></p>	
<p>3. チャレンジ<small>かてい</small>を始める前の1週間に、家庭から出した「ア. 燃えるごみ」と「イ. 資源回収<small>しげんかいしゅう</small>に出した資源物<small>しげんぶつ</small>」について、それぞれの重さを教えてください。</p> <p>ア. 燃えるごみ 重さ _____ kg</p> <p style="text-align: right;">※重さがはかれないとき _____ 畚袋 枚分</p> <p>イ. 資源回収<small>しげんかいしゅう</small>に出した資源物<small>しげんぶつ</small> 重さ _____ kg</p> <p><small>(注) 重さをはかれないときは、出した袋の数を教えてください。 イには、それぞれの資源物の重さの合計を書いてください。期間中に資源回収がないときは、いま分けてある資源物の重さを書いてください。 ※チャレンジした後と比べて、重さ(量)が変わらなくても数字は気にしないでください。 (チャレンジで何をしたか、どんな工夫ができたかが一番大切です。)</small></p>	

4. チャレンジャーとして、1週間で挑戦したこと

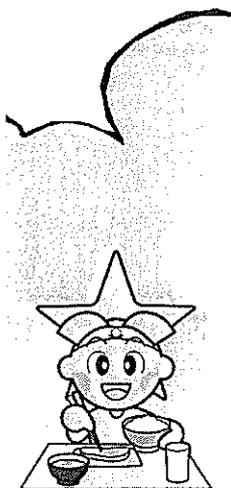
- 注)・挑戦したことの左の□にチェック(☑印)をしてください。☑をつける数は、いくつあってもかまいません。
・お家の人がいっしょに協力したことで、☑をつけてかまいません。
・ごみゼロチャレンジ・温暖化防止チャレンジのうち、どちらかだけでもかまいません。できる範囲で挑戦してください。
・()があるところには、内容を書いてください。

A) ごみゼロチャレンジ〔40項目〕

1) 食事をするときや作るときの工夫〔14〕

ア. 食事をするとき

- 食べ残しをしなかったり、好き嫌いをせずに食べるようにした
- 紙皿や紙コップなどの使い捨て商品を使わないようにした
- 外で食べる時、割りばしを使わず、マイはしを持ち歩くようにした
- 外に出るとき、水筒を持ち歩き、ペットボトルなどの飲み物を買わないようにした



ウ. 食事が終わったとき

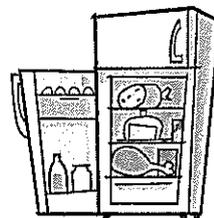
- 生ごみは、たい肥として利用したり、家の庭に埋めるようにした
- 生ごみは、水をよく切ってからごみに出すようにした
- 生ごみを排水(はいすい)に流さないようにした

イ. 食事を作るとき

- 食べ残しをなくすため、料理は余分な量を作らないようにした
- 野菜などは使いきり、調理くずを出さないようにした
- 余った食材は、他の料理に使うなどむだなく活用した

エ. その他食事やキッチンでのちょっとした工夫

- 賞味・消費期限(しょうみ・しょうひきげん)をこまめにチェックした
- 冷蔵庫や収納庫(しょうのうこ)を、点検する日をつくった
- 食器(しょっき)を洗った水や米のとき汁を、庭木の水やりなどに使用した
- 天ぷら油を資源回収(しげんかいしゅう)に出したり、石けんを作ったりして、そのまま排水(はいすい)に流さないようにした



2) 買い物をするときの工夫 [15]

ア. 長く使える商品などを選ぶ

- 同じ商品でも、なるべく長く使える商品を選んだ
- 流行(りゅうこう)にとらわれず、あきのこない商品を選ぶようにした

イ. 計画的に買い物をする

- 買うものをメモして、店に行くようにした
- 買う前に、本当に必要かどうかを考えてから買うようにした
- おもちゃやテレビゲームを買うのをがまんした

ウ. マイバッグの持参など、買い物する前からごみを減らす工夫をする

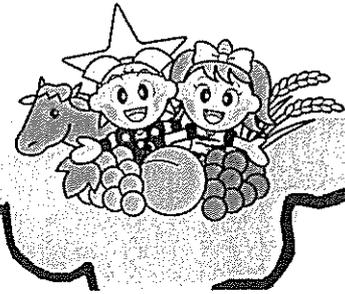
- マイバッグを店に持って行き、レジ袋(ふくる)や紙袋をもらうのをことわった
(家族合計の回数: 回)
- 包装紙(ほうそうし)やブックカバーを店でことわった
(家族合計の回数: 回)
- 使い捨ての割りばし、スプーン、ストローなどを店でことわった
(家族合計の回数: 回)

エ. ごみになる量が少ない商品や環境(かんきょう)にやさしい商品を買う

- 洗って何度も使えるリターナブルびんを優先(ゆうせん)して買った
[例: 牛乳びん]
- 洗剤(せんざい)などのつめかえ商品を買った (物:)
- 環境(かんきょう)にやさしいエコマークのついた商品を買った
(物:)
- ノートやトイレトペーパーは再生紙(さいせいし)で作られた商品を買った
- 野菜などは、有機栽培(ゆうきさいばい)や地元のものを買うようにした

オ. その他買い物についてのちょっとした工夫

- 使い捨ての商品はできるだけ買わないようにした
- ごみを減らしたり、リサイクルに取り組む店(エコショップ)を利用した



3) 生活の知恵と工夫 [11]

ア. ごみをなるべく出さない生活をする(リデュース)

- 広告、チラシ、カレンダーなどの裏面をメモ用紙に使うようにした

ウ. ごみになるものであっても大切な資源として活用する(リサイクル)

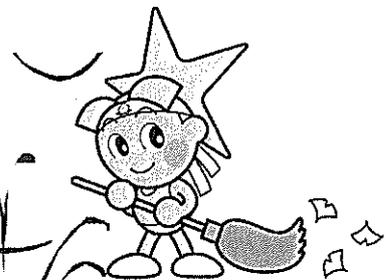
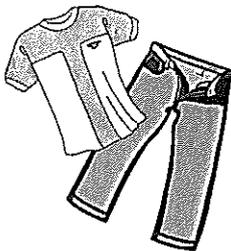
- 新聞、雑誌(ざっし)、牛乳パック、食品トレー、ダンボールを、資源回収(しげんかいしゅう)などに出した
- かん、びん、ペットボトルを分別(ぶんべつ)して、資源回収(しげんかいしゅう)などに出した
- 包装紙(ほうそうし)や紙ばこなどの雑紙(ざつがみ)も、捨てずに資源回収(しげんかいしゅう)などに出した

イ. ごみになるものであっても使えるものは再使用する(リユース)

- 親戚(しんせき)や友人たちと、いらなくなった洋服などを交換した
- 故障(こしょう)したり、こわれた物を修理して使った(物:)
- ペットボトルは、捨てずにお茶などを入れて使うようにした

エ. その他ごみについて生活面でのちょっとした工夫

- 外に出たとき、ごみはできるだけ持ち帰るようにした
- 家族でごみを減らす方法やふだんの手伝いなどを話し合った
- 自分の部屋をはじめ、家の中を整理整頓(せいりせいとん)した
- 文房具やものを捨てる前に、まだ使えるかどうかを考えた



B) 温暖化防止チャレンジ〔22項目〕

1) 電気の節約などの工夫〔12〕

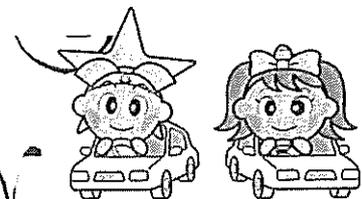
- 使わない部屋の電気は、こまめに消すようにした
- 見ていないテレビは消すなど、つけっぱなしにしないようにした
- ゲームをするときは、時間を決めてするようになった
- エアコンを使うのをがまんしたり、扇風機(せんぷうき)を使うようにした
- 冷房(れいぼう)の温度を28℃以上に設定(せってい)した
- エアコンのフィルターを掃除(そうじ)した
- 寝る前や長時間使わないとき、家電製品のコンセントを抜くようにした
- 部屋を片づけてから、掃除機(そうじき)をかけるようにした
- 入浴後に浴槽(よくそう)にフタをしたり、お風呂に続けて入るようにした
- 冷蔵庫(れいぞうこ)と壁の間にすきまをあけた
- 冷蔵庫(れいぞうこ)は、何を取り出すか決めてから開け、すぐに閉めるようにした
- 冷蔵庫(れいぞうこ)にものをたくさん詰めこみすぎないようにした

2) 水の節約などの工夫〔5〕

- 歯みがきやシャワーのとき、水を出しっぱなしにしないようにした
- 料理を作ったり後かたづけのとき、水を出しっぱなしにしないようにした
- 鍋(なべ)や皿に残ったよごれは、ふき取ってから洗うようにした
- お風呂の残り湯は、洗濯(せんたく)や庭の水やりなどに使うようにした
- 洗濯(せんたく)はできるだけまとめて洗うようにした

3) 自動車に乗るときの工夫 (主に大人)〔5〕

- マイカーではなく、バスや電車などの公共交通機関(こうきょうこうつうきかん)を利用するようにした
- 近くの用事は、歩いて行ったり、自転車を利用するようにした
- 停車(ていしゃ)など車が止まっているときは、エンジンを切るようにした
- 車はゆっくり発進し、スピードを急に上げないようにした
- 車のエアコンを冷やしすぎないようにした



5. もったいないチャレンジ日記

期間中がんばってチャレンジしたこと、自分や家族が考えた取組などを書いてください。(どんなことでもかまいません。)

例

8月 1 日 土曜日 天気 (晴れ)

買い物に行くとき、エコバッグを持って行ってレジ袋をもらわなかった。
洗い物の手伝いをするとき、ソースやドレッシングがついてよごれたお皿を野菜や
くだものの皮でふいてから洗った。

①

月 日 曜日 天気 ()

②

月 日 曜日 天気 ()

③

月 日 曜日 天気 ()

④

月 日 曜日 天気 ()

⑤

月 日 曜日 天気 ()

⑥

月 日 曜日 天気 ()

⑦

月 日 曜日 天気 ()

☆ お家の方の感想を、ここに書いてもらってください。
(どんなことでもかまいません。)

「もったいないチャレンジ」に協力くださったご家族のみなさん、
どうもありがとうございました。



☆ 「もったいないチャレンジャー」の活躍・奮闘ぶりを記録した写真があったら、この下に貼ってください。(資料などもありましたら、別につけてください。)

(注) 別の用紙でもかまいません。ただし、模造紙(788×1091mm)1枚までの大きさでお願いします。

平成 27 年度「マイバッグ・チャレンジ 30」実施要領（案）

1 目 的

レジ袋の削減効果を数字で表し「見える化」することで、マイバッグ持参による買い物習慣の定着を図るとともに、グループ単位でレジ袋削減の取組を促すことで、ごみの減量化、環境保全及び環境にやさしい生活スタイルへの見直しを推進する。

2 主 催

岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

3 参加資格

岡山県内に在住又は勤務している方のグループ（事業所、団体の他、家族、友人など 2 人以上）* 申込責任者は成人の方とする。

4 参加登録

平成 27 年 10 月 31 日（土）までに、パソコン等で「岡山県環境文化部循環型社会推進課」ホームページから参加登録フォームへ入力又は参加登録票（別添）をメール、FAX、郵送で下記「9 申込み・問合せ先」宛てに提出する。

5 実施期間

平成 27 年 11 月 1 日（日）から 11 月 30 日（月）まで

6 実施方法

参加者は、スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストア等（県内外は問わない。）での①買い物回数（任意）及び②レジ袋辞退回数（必須）を記録する。

期間終了後、平成 27 年 12 月 14 日（月）までに、グループ内のレジ袋辞退回数等を集計し、報告票（別添）をメール、FAX 又は郵送で下記「9 申込み・問合せ先」宛てに提出する。

7 結果発表

平成 28 年 1 月下旬、レジ袋辞退回数等について全参加グループの取組を公表する。併せて、レジ袋の削減量、二酸化炭素の削減量を公表する。

8 その他

- (1) チャレンジのためのエコバッグを先着 100 グループにプレゼントする。
（1 グループあたり 10 個以内。ただし、参加者数までとする。）
- (2) 取組結果の上位チームには、岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議会長名の参加記録証を贈る。

9 申込み・問合せ先

〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下 2-4-6
岡山県環境文化部循環型社会推進課 「マイバッグ・チャレンジ 30」係
TEL：(086) 226-7306 FAX：(086) 224-2271
Email：junkan@pref.okayama.lg.jp

食品ロスについて

2015年1月6日更新／循環型社会推進課

食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。

日本では、年間約1,700万トン(平成22年度推計)の食品廃棄物が出されていて、このうち、食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は年間約500～800万トン(平成22年度推計)といわれています。これは、米の年間収穫量約813万トンに匹敵する量です。

また、食品ロスの約半分は一般家庭からのもので、家庭における一人当たりの食品ロスは、1年間に約15kgで、ご飯1食を250gとすると、60食分になります。

国では「食品ロス削減関係省庁等連絡会議」を構成する6府省庁(内閣府、消費者庁、文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省)が連携し、官民をあげて食品ロス削減国民運動を展開しています。

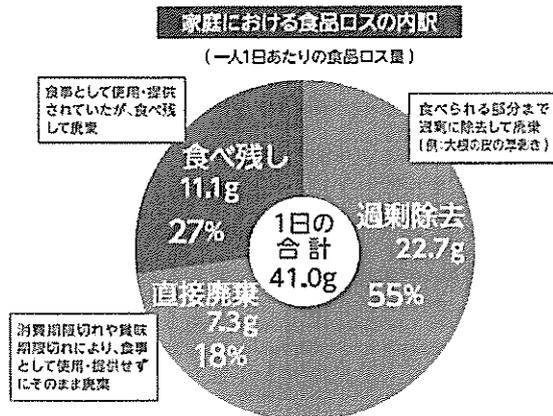
食品ロスを減らすため、「もったいない」気持ちを大切に、1人ひとりができることから始めましょう！

○家庭でできること

- ・「賞味期限」を正しく理解する。
- ・必要に応じて買い物をする。
- ・食材は無駄なく使う。
- ・調理で作り過ぎない。余ったら作りかえる。

消費者庁ホームページ「食べもののムダをなくそうプロジェクト」

* 野菜の皮や茎を活用した料理や余った料理をアレンジした料理などの「食材を無駄にしないレシピ」も紹介しています。



消費者庁作成パンフレット(平成26年2月版)より抜粋

○食品産業では、食品廃棄物の発生自体を減らす「発生抑制」の取組が重要であり、平成24年4月に食品リサイクル法にもとづく「発生抑制の目標値」が設定されました。

農林水産省ホームページ「食品ロスの削減・食品廃棄物の発生抑制」

http://www.maff.go.jp/i/shokusan/recycle/svoku_loss/index.html

○食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設等へ無料で提供する「フードバンク」と呼ばれる団体・活動があります。

フードバンクについて(農林水産省ホームページ)

http://www.maff.go.jp/i/shokusan/recycle/svoku_loss/foodbank/index.html

県内の活動団体:「NPO法人フードバンク岡山」ホームページ

<http://fb-okayama.com/>

お問い合わせ

お問い合わせ課室

※このページに関するお問い合わせについては、循環型社会推進課までお願いします。

マイボトル・マイカップキャンペーンについて

2014年12月5日更新 / 循環型社会推進課

環境省では、国民の誰もが簡単に実践できるリユースの具体的な取組として、平成22年度から企業、大学、地方自治体等様々な主体の参加を得て、マイボトル・マイカップの普及促進のキャンペーンを行っています。

これは、オフィス・大学・学校・外出先で自分の水筒、タンブラー、ジョッキ、カップ、湯のみなどの飲料容器(マイボトル・マイカップ)を使う取組で、使い捨ての飲料容器を減らしたり、物を大切に長く使ったりすることで、ごみや環境負荷を減らしていくものです。

皆さんも、オフィスや大学・学校、外出先でマイボトル・マイカップを使ってみませんか？

マイボトル・マイカップが利用できるお店や参加企業、団体など詳しい情報は、次のキャンペーンサイトをご覧ください。

岡山県内でもキャンペーンに賛同しているお店があります！

- 1 「マイボトル・マイカップキャンペーン」について
- 2 マイボトル・マイカップに飲料を提供するお店

マイボトル・マイカップに飲料を提供するお店(岡山県内店舗 上記2より抜粋)

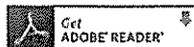
店 舗 名		取組内容
タリーズコーヒー	イオンモール岡山店、さんすて岡山店、岡山駅前店、フタバ図書MEGA岡山店、アリオ倉敷店	マイカップ・マイボトルを持参で、ドリンクを30円引きで提供しています。
スターバックスコーヒー	岡山一番街店、岡山大安寺店、岡山ロッツ店、イオンモール岡山店、岡山大学病院店、岡山シネマタウン岡南店、岡山けやき通り店、倉敷天満屋店、イオンモール倉敷店、倉敷中島店、三井アウトレットパーク倉敷店	マイカップやタンブラー等を持参で、ドリンクを20円引きで提供しています。
シアトルズベストコーヒー	SBCエディオン倉敷店	タンブラー等を持参で、ドリンクを20円引きで提供しています。
上島珈琲店	岡山大学病院店	マイカップやタンブラーを持参でドリンクを50円引きでご提供しています。

コンビニエンスストア実施分

取組内容	
ローソン	県内「マチカフェ」設置店舗：タンブラー等を持参で、ドリンクを10円引きで提供しています。

*循環型社会推進課把握分を掲載しています。この他に、マイボトル、マイカップの利用に取り組んでいる店舗がありましたら、次の問い合わせ先にご連絡ください。

[マイボトル・マイカップキャンペーンパンフレット\(環境省作成\)](#)



Pdf形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe社が提供するAdobe Readerが必要です。Adobe Readerをお持ちでない方は、バナーのリンク先からダウンロードしてください。(無料)

お問い合わせ

お問い合わせ課室

※このページに関するお問い合わせについては、循環型社会推進課までお願いします。

平成26年度
岡山県マイバッグ持参率等アンケート調査
報告書

2015年3月

目次

I 調査の概要	
1. 調査の目的	2
2. アンケート調査実施店舗名・アンケート集計数・アンケート調査日	2
3. 調査方法	2
4. 調査実施機関	2
5. 注意事項	2
II 設問別の結果	
1. 年代	3
2. 性別	3
3. 居住地	4
4. 岡山県統一ノーレジ袋デー	5
5. マイバッグの所持	5
6. マイバッグ持参回数	6
7. マイバッグを持って行けない(行かない)時の理由	6
8. お店がレジ袋を有料にした場合	7
9. レジ袋有料店舗	7
10. マイバッグを持参する人を増やすには	8
III. 調査票	10

I 調査の概要

1. 調査の目的

岡山県内のマイバッグの持参率等を把握し、レジ袋の削減に係る施策の基礎資料とする。

2. アンケート調査実施店舗名・アンケート集計数・アンケート調査日

アンケート調査実施店舗名	集計数	調査日
フレスタ津島店	300	2月4日
マルイ勝山店	300	2月10日
ニシナフードバスケット笠岡店	300	2月12日
マルイノースランド店	300	2月13日
フレスタ新見店	300	2月16日
業務用食品スーパー新倉敷店	300	2月17日
チョッパーズ新福店	300	2月19日
ザ・ビッグ倉敷店	300	2月20日
ハピッシュ山陽店	300	2月24日
ハピーマート勝央店	300	3月3日
合計	3,000	

3. 調査方法

岡山県内 10 店舗の店内にて、来店者に対するヒアリング及び回答者によるアンケート用紙への直接記入(無記名)。

4. 調査実施機関

株式会社 東京商工リサーチ 岡山支店

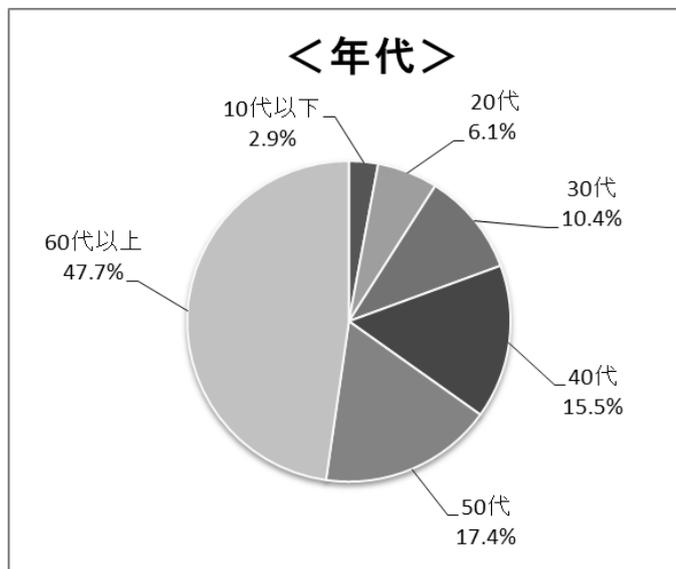
5. 注意事項

- ・アンケートにいずれか回答があったものは有効回答とする。
- ・「回答拒否」「記入なし」は「無回答」として処理している。
- ・「1つのみに○」の質問に複数回答があった場合は「無効」として処理している。
- ・5について持っていないと回答し 6,7 に回答がある場合は「無効」とした。
- ・6 は 5 で持っている と回答した件数で構成比を算出した。
- ・6 の集計表の上段は件数、下段は回答件数の合計に対する割合(%)とする。
- ・7 は 6 で 0~9 回と回答したものについて各項目を集計し、総件数で構成比を算出した。
- ・表中の構成比率は小数点第 3 位以下を四捨五入し小数点第 2 位表記とし、図(グラフ)の構成比率は小数点第 2 位を四捨五入し小数点第 1 位表記とするが、端数処理のため合計は 100% にならない場合がある。

Ⅱ 設問別の結果

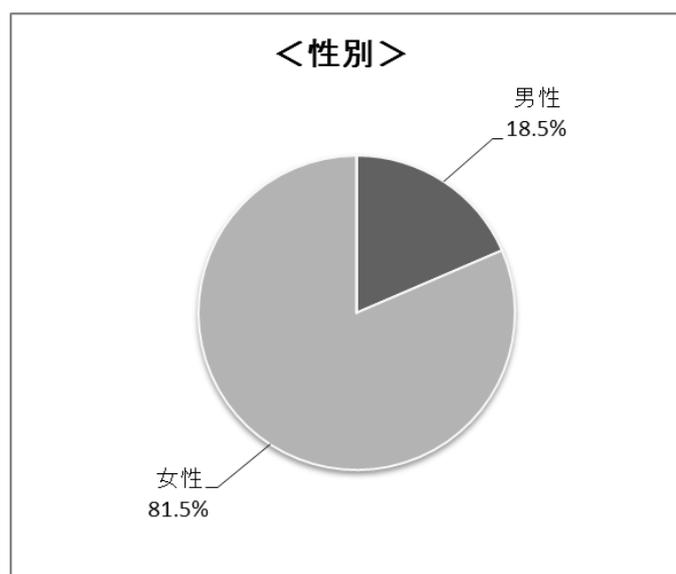
1 年代

区分	件数	構成比
①10代以下	87	2.90%
② 20代	182	6.07%
③ 30代	312	10.40%
④ 40代	466	15.53%
⑤ 50代	521	17.37%
⑥ 60代以上	1,432	47.73%
無回答	0	0.00%
合計	3,000	100.00%



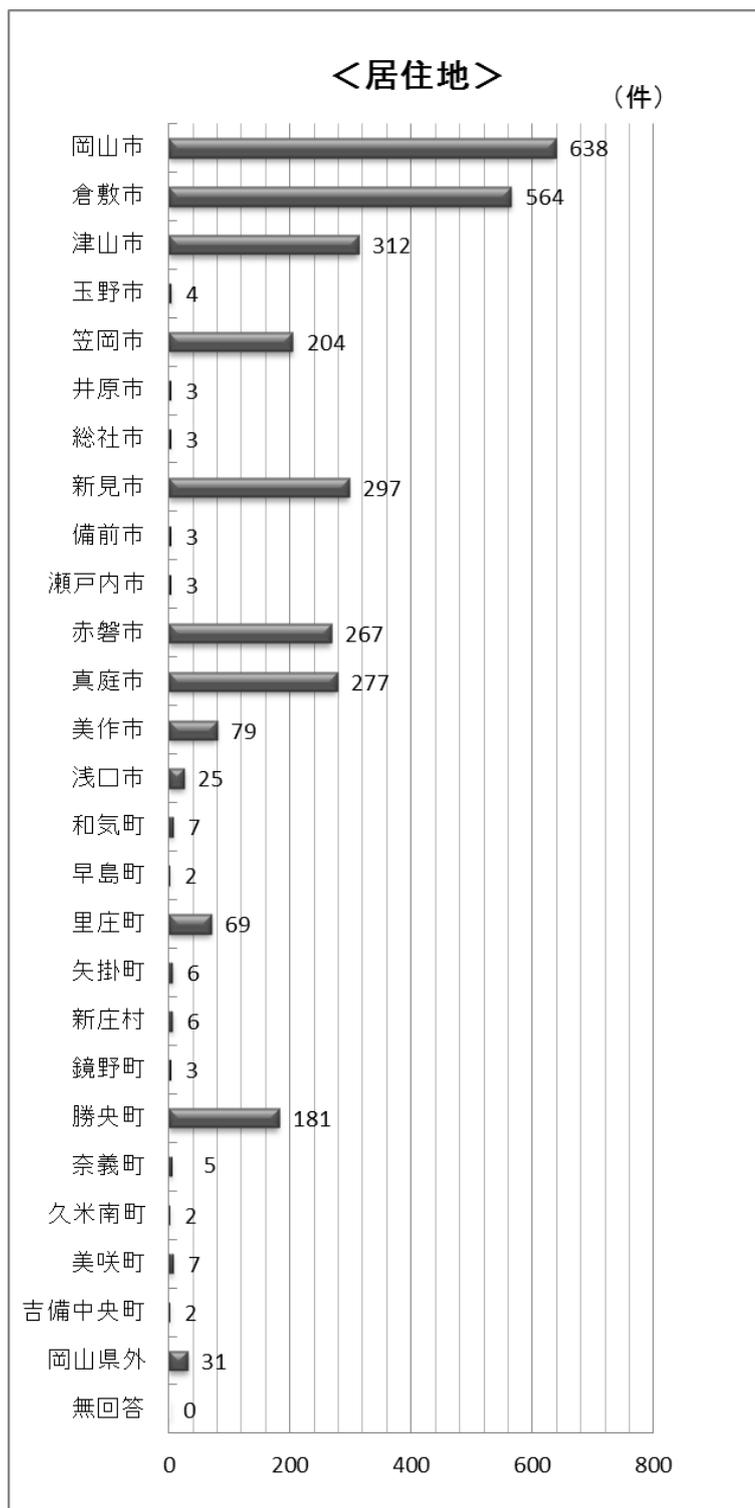
2 性別

区分	件数	構成比
男性	555	18.50%
女性	2,445	81.50%
無回答	0	0.00%
合計	3,000	100.00%



3 居住地

市町村名	件数	構成比
岡山市	638	21.27%
倉敷市	564	18.80%
津山市	312	10.40%
玉野市	4	0.13%
笠岡市	204	6.80%
井原市	3	0.10%
総社市	3	0.10%
高梁市	0	0.00%
新見市	297	9.90%
備前市	3	0.10%
瀬戸内市	3	0.10%
赤磐市	267	8.90%
真庭市	277	9.23%
美作市	79	2.63%
浅口市	25	0.83%
和気町	7	0.23%
早島町	2	0.07%
里庄町	69	2.30%
矢掛町	6	0.20%
新庄村	6	0.20%
鏡野町	3	0.10%
勝央町	181	6.03%
奈義町	5	0.17%
西粟倉村	0	0.00%
久米南町	2	0.07%
美咲町	7	0.23%
吉備中央町	2	0.07%
その他(岡山県外)	31	1.03%
無回答	0	0.00%
合計	3,000	100.00%



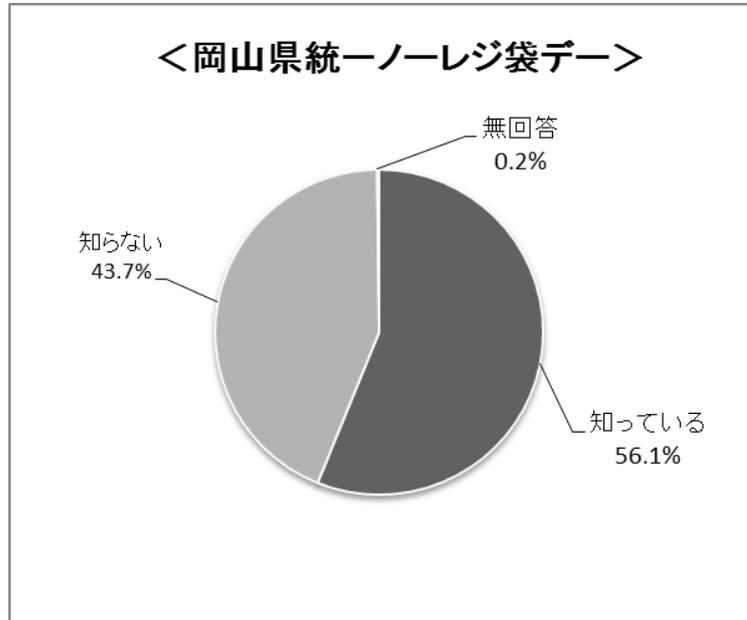
(その他岡山県外)

福山市 6、大阪市 3、京都市 3、神戸市 2、庄原市 2、日進市 2、阿蘇市 1、我孫子市 1、大津市 1、尾道市 1、川西市 1、熊本市 1、佐用町 1、鳥取市 1、奈良市 1、姫路市 1、広島県 1、広島市 1、米子市 1

4 岡山県統一ノーレジ袋デー

Q あなたは、平成22年6月から始まった「岡山県統一ノーレジ袋デー(毎月10日)」のことを知っていますか？(1つのみに○)

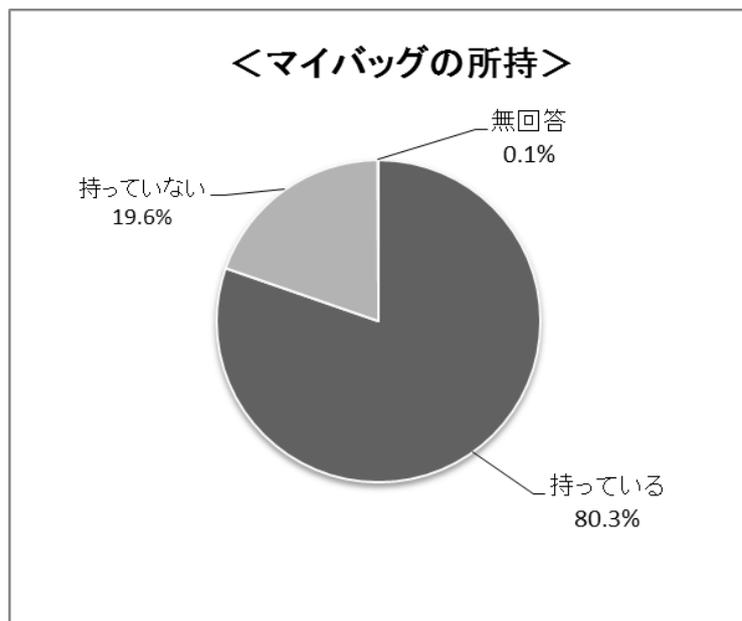
	件数	構成比
知っている	1,684	56.13%
知らない	1,310	43.67%
無回答	6	0.20%
合計	3,000	100.00%



5 マイバッグの所持

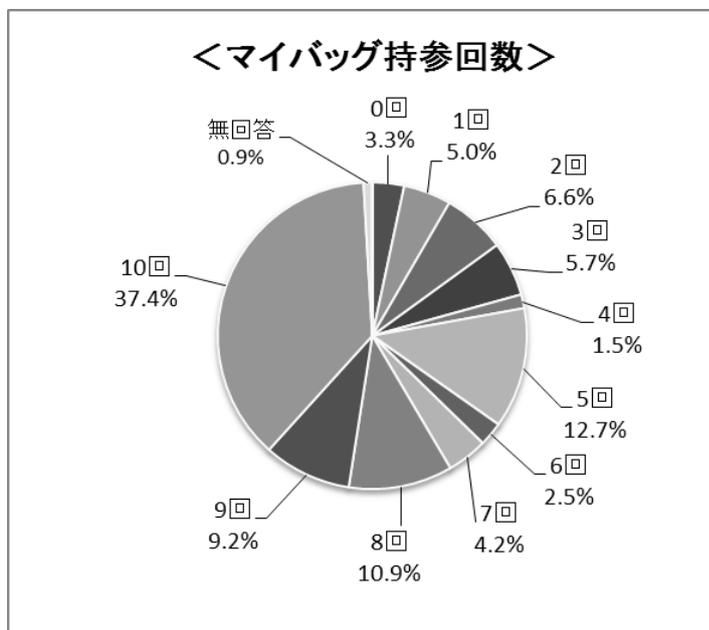
Q あなたは、買った商品を入れて持ち帰る袋(マイバッグ)やふるしきをお持ちですか？(1つのみに○)

	件数	構成比
持っている	2,410	80.33%
持っていない	588	19.60%
無回答	2	0.07%
合計	3,000	100.00%



6 マイバッグ持参回数

Q あなたは、買い物のときに、どのくらいの回数マイバッグを持ってお店に行きますか？（買い物10回のうち、マイバッグを持っていく回数）



	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	無回答	合計
件数	80	120	160	138	35	306	61	102	262	222	902	22	2,410
構成比%	3.32	4.98	6.64	5.73	1.45	12.70	2.53	4.23	10.87	9.21	37.43	0.91	100.00

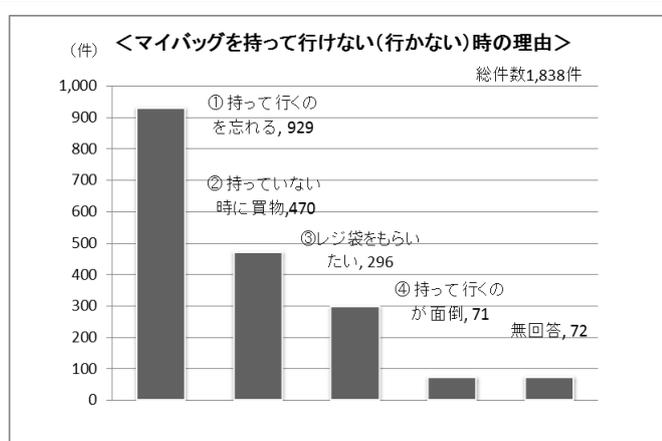
* マイバッグ持参率（マイバッグ持参回数が10回のうち8回以上の人の割合） 46.2%

マイバッグを持っている人だけを分母とした場合の上記比率 57.5%

7 マイバッグを持って行けない（行かない）時の理由

Q マイバッグを持って行けない（行かない）時の理由は何ですか？（複数に○）

	件数	構成比
① 持って行くのを忘れる	929	50.54%
② 持っていない時に買物	470	25.57%
③ レジ袋をもらいたい	296	16.10%
④ 持って行くのが面倒	71	3.86%
無回答	72	3.92%
合計	1,838	100.00%



8 お店がレジ袋を有料にした場合

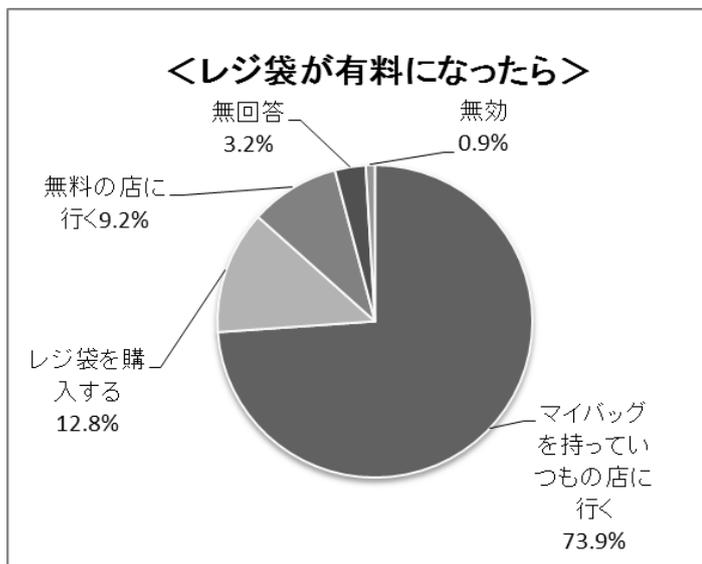
Q あなたは、いつも買い物に行くお店がレジ袋を有料にしたらどうしますか？(1つのみに○)

	件数	構成比
①マイバッグを持っていつもの店に行く	2,217	73.90%
②レジ袋を購入する	383	12.77%
③無料の店に行く	277	9.23%
無回答	95	3.17%
無効(複数回答)	28	0.93%
合計	3,000	100.00%

*無効(複数回答)

①② 15件、①②③ 2件

①③ 8件、②③ 3件



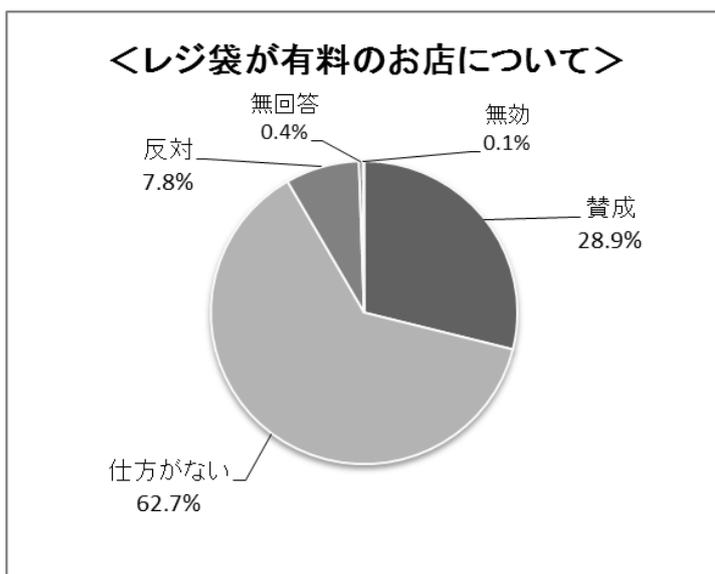
9 レジ袋有料店舗

Q すでにレジ袋を有料にしているお店がありますが、どう思いますか？(1つのみに○)

	件数	構成比
①賛成	867	28.90%
②仕方がない	1,882	62.73%
③反対	235	7.83%
無回答	12	0.40%
無効(複数回答)	4	0.13%
合計	3,000	100.00%

*無効(複数回答)

①② 3件、②③ 1件



10 マイバッグを持参する人を増やすには

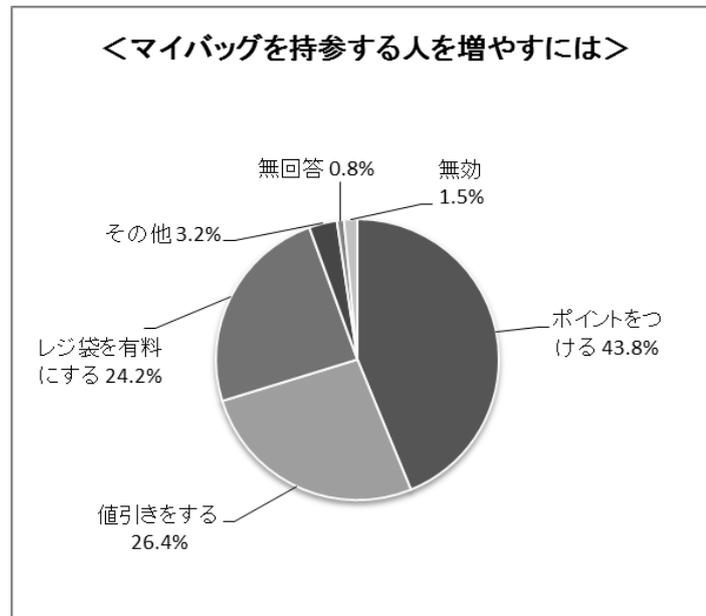
Q 買い物のときにマイバッグを持ってお店に行く人を増やすためには、どうすればよいと思いますか？（1つのに○）

	件数	構成比
①ポイントをつける	1,315	43.83%
②値引きをする	792	26.40%
③レジ袋を有料にする	727	24.23%
④その他	96	3.20%
無回答	24	0.80%
無効(複数回答)	46	1.53%
合計	3,000	100.00%

*無効(複数回答)

①② 26件、①②③ 4件、①③ 12件

①④ 1件、②③ 2件、③④ 1件



④その他(ほぼ原文)

- ◆ 意識をかえるキャンペーンをしましょう。
- ◆ おしゃれなレジ袋を作って広める。
- ◆ レジ袋の値段を毎回増やしていく。買った商品の数に比例させレジ袋の値段を上げる。
- ◆ スーパーがつくってくれる
- ◆ 有料にするより何円か値引きする方が有効と思います。
- ◆ マイバッグがとても良いことのアピールをする。
- ◆ 意識の改革、意識の向上(3件)
- ◆ マイバッグを持っていく利点を知ってもらう。
- ◆ しっかりアピールする。(意識づけ)
- ◆ 考えなし。
- ◆ それぞれだと思う。
- ◆ 自分の考えで協力する様に。
- ◆ ①②③どれも良いと思う。
- ◆ なにもしない。
- ◆ 店からダンボール箱をもらう。
- ◆ エコに対する意識の問題。
- ◆ 自覚するより他ない。
- ◆ その時の状態による。
- ◆ 任せる。
- ◆ レジ袋をお店から支給しない。
- ◆ もっと環境について一人一人関心を持つべきと思う。一回でレジ袋を捨てるのは資源のムダでしょう(もったいない)
- ◆ 買う人の気持ちの問題。
- ◆ それぞれ心構えを持つ。
- ◆ 自己責任(3件)。
- ◆ わからない(8件)
- ◆ 自分で持って行くことになる。
- ◆ ゴミを増やさないためにもマイバック持参を励行
- ◆ 有要性のアピール、広告、広報 etc 継続的に。
- ◆ 袋を出さない。置かない。
- ◆ あまり関心がない
- ◆ 人によって違うと思います。わかりません。
- ◆ 客のひとりひとりがもらわなくても当たり前と思うこと。
- ◆ どうしても持ってこない人は持って来ない。
- ◆ 必要には感じない。
- ◆ なぜマイバッグが必要・有用であるのか伝える。
- ◆ 意味を周知する。
- ◆ ゴミ出しにレジ袋を使っているので(レジ袋は)ゴミではないと思っている。
- ◆ アピールを強くする、CM など。
- ◆ 価格にのせる。
- ◆ 買い物袋を有効に利用している。
- ◆ 景品を渡す
- ◆ レジ袋がもらえる時はもらえるようにする。
- ◆ レジ袋の使用価値がなくなれば増える
- ◆ 即レシートに加える
- ◆ 広報をしっかりと!
- ◆ さて、忘れる事に名案があるようには・・・。
- ◆ 環境についての教育
- ◆ マイバッグの安全性面(万引きに使われる気がします)を考える。
- ◆ 考えていない。
- ◆ キャッシュバック(3件)
- ◆ 強制
- ◆ 自覚によるから分からない
- ◆ もたない人はもたない。
- ◆ 考えていない。
- ◆ なくなったら困る
- ◆ 全く無くする
- ◆ 社会のしきみをかえる
- ◆ ポイントをつけて指定の黄色のゴミ袋と交換。
- ◆ どのお店もレジ袋を出さない(2件)。
- ◆ 常にマイバッグを持ち歩く事を当たり前にする(2件)。
- ◆ かわいい柄の大・中・小のマイバッグの販売を望みます。
- ◆ 袋が店になければ持っていく。
- ◆ 関心なし・・・。
- ◆ レジ袋を高い値段にする。
- ◆ マイバッグを貸し出す
- ◆ 個人の意思の尊重
- ◆ ゴミ削減の意識を強く説明し納得させるよう広める。
- ◆ マイバッグがないと売らない。

アンケート



- Q1 あなたはどの年代ですか？（1つのみに○）
①10代以下 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代以上
- Q2 あなたの性別を教えてください。（1つのみに○）
①男性 ②女性
- Q3 あなたのお住まいの市町村を教えてください。
_____ 市・町・村
- Q4 あなたは、平成22年6月から始まった「岡山県統一ノーレジ袋デー（毎月10日）」の
ことを知っていますか？（1つのみに○）
①知っている ②知らない
- Q5 あなたは、買った商品を入れて持ち帰る袋（マイバッグ）やふるしきをお持ちですか？
（1つのみに○）
①持っている（Q6へ） ②持っていない（Q8へ）
- Q6 あなたは、買い物のときに、どのくらいの回数マイバッグを持ってお店に行きますか？
（買い物10回のうち、マイバッグを持って行く回数）
10回のうち_____回くらい（0～9回→Q7へ、10回→Q8へ）
- Q7 マイバッグを持って行けない（行かない）時の理由は何ですか？（複数に○可）
① マイバッグを持って行くのを忘れる
② マイバッグを持っていない時に買い物に行く必要がある
③ レジ袋をもらいたい
④ マイバッグを持って行くのが面倒
- Q8 あなたは、いつも買い物に行くお店がレジ袋を有料にしたらどうしますか？
（1つのみに○）
① 買った商品を入れる袋（マイバッグ）などを持って、いつものお店に行く
② いつものお店に行き、お金を支払ってレジ袋を買う
③ レジ袋が無料のお店に行く
- Q9 すでにレジ袋を有料にしているお店がありますが、どう思いますか？（1つのみに○）
① 賛成 ② 仕方ない ③ 反対
- Q10 買い物のときにマイバッグを持ってお店に行く人を増やすためには、どうすればよい
と思いますか？（1つのみに○）
① ポイントをつける ② 値引きをする ③ レジ袋を有料にする
④ その他（_____）

ご協力ありがとうございました。



岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議